奈良日独協会インフォメーション

Neues in Nara Nr. 96

2026（令和 8）年 10 月 21 日

Japanisch-Deutsche Gesellschaft Nara (JDG-Nara)

奈良日独協会（会長：河野良文） 〒630-8133　奈良市大安寺 2-18-1 大安寺内

Tel/0742(61)6312　　Fax/0742(61)0473

https://www.daianji.or.jp/jdgn

編集：横山　香（pnhkmts@yahoo.co.jp）

● 行事報告（1）　ビアアーベントを開催しました

2026 年度のビアアーベントを、7 月 25 日（土）17 時 30 分から、なら 100 年会館 1F の「ONE　UNITED LAB」にて開催しました。

河野会長の挨拶から始まり、加藤副会長の乾杯の音頭で楽しいイベントがスタートしました。

参加者は 24 人で、少し寂しい人数でしたが、奈良スタッグクラブおよび神戸日独協会からもご参加をいただき、また、新入会員の蓮見岳人さん（「新入会員の紹介」参照）、田中良委さんにも初参加していただきました。



プログラムの内容としては、奈良大学ウインドオーケストラクラブ有志（左写真）の演奏をはじめ、参加者によるドイツ語での合唱などで大いに盛り上がりました。

とくに今年は新企画として「商品獲得を目指せ！じゃんけん大会」を行いました。参加者全員とレストランの店長さんとの、勝ち残りじゃんけんゲームです。皆さん、真剣に商品獲得を目指し、グー・チョキ・パーを出しておられました。見事、6 名の方が豪華な賞品を GET されました。

最後は、河野会長から恒例の「祈りのセレモニー」の説明があり（右上写真）、全員輪になって厳かに執り行いました。ろうそくに見立てた「光る腕輪」をかざしながら、一人ひとり順番に点灯を行いました。最後に集合写真を撮影し（右下写真）ビアアーベントは幕を閉じました。

隅田　憲孝　理事



「祈りのセレモニー」について説明する河野会長



終了後の記念撮影

● 行事報告（2）西日本地域日独協会連絡会に参加しました

2026 年 6 月 24 日（水）、ドイツ総領事館隣接スペース Kura にて、西日本地域日独協会連絡会が開催されました。西日本地域日独協会 23 団体のうち 11 団体の代表者と、ドイツ総領事館からは、ザクシンガー総領事（当時）および領事館職員の方々が参加し、西日本地域の日独協会の今後の協働や交流等について意見交換をおこないました。奈良日独協会からは、松本俊郎理事と横山香理事が参加しました。（次頁に続く）

初めに神余・大阪日独協会会長から開会の挨拶があり、趣旨説明が行われました。引き続きザクシンガー総領事のご挨拶があり、とくに若者を巻き込みながら、市民社会レベルで日独交流のプラットフォームとなってほしいとの期待を述べられました。

次に、各日独協会から、会の諸活動と成果、現状、運営上の課題等について報告があり、各協会とも地域や会員の特色・特性を生かした文化交流行事や、ドイツ語学習会といった活動を積極的におこなっていることを知ることができました。

しかしその一方で、とくに大学でのドイツ語履修の機会が減少していくなかで、多くの協会においては若手会員の獲得が難しく、協会内での世代間ギャップといった問題もあるということでした。

懇親会では、豪華な会席弁当やドイツビール・ワイン、ドイツ菓子等がふるまわれ、会場は大いに盛り上がりました。また、ひと月後には帰国が決まっていたザクシンガー総領事が皆にワインを注ぎに回ってくださり、一緒に写真を撮るなどして別れを惜しみました。

今回の会合は、西日本地域日独協会の今後の交流や協働に向けた第一歩として、貴重な機会になりました。ぜひとも発展させていけたらと思います。

今回の連絡会の取りまとめや司会をしていただいた大阪日独協会事務局長の角谷俊昌氏には、ここであらためて感謝申し上げます。

横山　香　理事

河野会長のドイツ訪問記 ～ドイツへの夫婦旅（下）～

2025 年 5 月 30 日

バンベルク～ニュルンベルク～フライジング

朝、ひとりで散歩にでて川沿いの道を歩くと、赤や黄色の薔薇が咲き乱れる家の前の椅子に座って川を眺めている老婆がいた。横にはマグカップが一つ置かれ、朝のコーヒータイムのようだった。通りすがりに「グーテンモルゲン」と声をかけると、静かに微笑んでくれた。昨日行った旧市街までいき、賑やかな子供達の通学風景を眺め、一時間ほどしての帰りには、先ほどの老婆がまだ同じ所に佇んでいた。ゆったりとした川の流れのように、緩やかな時間がこの人には流れているのだと思えた。

同行のマトイス氏（*注）は、この日は少し距離を稼ぐという。ニュルンベルクを経て、ミュンヘンの郊外、フライジングまで行って泊まる予定である。ミュンヘン空港からの帰国なので、なるべく空港に近く便な所を探してくれている。

*注　マトイス夫妻（ユルゲンさんと桂子さん）はビーレフェルト独日協会の会長夫妻で、河野夫妻の滞独中、車で街々を案内してくださいました。

さて、バンベルクの美しい町を去りがたい思いで、ニュルンベルクへと向かう。1 時間ほどで立派な城郭に囲まれたニュルンベルク城が見えてきた。かつて神聖ローマ帝国時代から歴代の皇帝が滞在する古城であったようで、交通の要衝地でもあり、城塞都市として栄えたという。城門をくぐると、様々な土産物を売る店がたくさん並び、アジア的な小物のグッズを売る店を覗くと果たしてオーナーは日本人女性だった。

城郭に囲まれた旧市街は賑やかで、聖セバルドゥス教会や聖ローレンツ教会を拝観する。何れもゴシック建築としてステンドグラスやパイプオルガンが見事だった。折しも音楽祭が開かれているようで、いろんなコーラスグループが練習をしている。教会の外で見事なハーモニーが聞こえてきたので近づくと、男女の混声合唱を指揮しているのはまたもや日本人の女性だった。声をかけようかと思ったが、熱心な指導中で遠慮をした。

中央のマルクト広場には、白アスパラガスや巨大なキュウリがたくさん売られていた。杏のような果物があったので買うことにする。桂子さんがうまく交渉して、その場で切り分けてくれ、歩きながら味わうのも乙なものだった。昼食を広場の一角でとる。ソーセージとポテトとビール。ドイツならではの楽しみだ。午後からデューラーの家に行く。有名な画家の家はそのままに保存され、かつて東山魁夷が滞在して、家の窓から外を描いたという景色がそのままに望めた。桂子さんは自身が絵を描くだけに、感激したようで、詳しく説明してくれた。

3 時過ぎにニュルンベルクを後にしてフライジングに向かう。距離は少しあるがアウトバーンを快適に走り、1 時半程でフライジングについた。途中ホップ畑がたくさん目につき、ミュンヘンのビールの元だとユルゲン氏の説明。一旦ホテルに入り、街中のレストランへ。この旅の最後の夕食はマトイス夫妻へのお礼も兼ねて、バイエルンの名物料理を味わおうということで探してもらった。歴史あるレストランのようで、バイエルンの騎士の兜や剣、紋章などが飾ってあった。



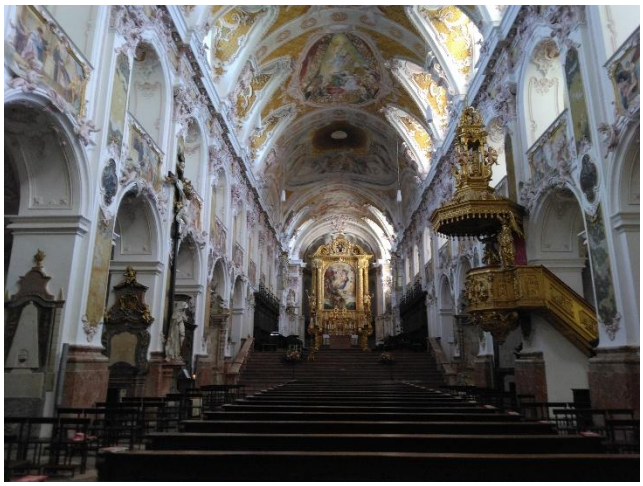
マトイス夫妻と

早速ビールで乾杯していると、肩からベルトを掛け、帽子をかぶった学士会の服装をした人達が入ってきた。聞くとミュンヘン大学の学士会メンバーだという。ユルゲン氏はケルン大学のラインシュタイン学士会。早速意気投合して大きな靴型のジョッキで乾杯が始まった。私も加えてもらうがとても彼らのペースにはついていけない。美味しい食事とビール、愉快な彼らとの交流はドイツ最後の良い思い出として残った。

2025 年 5 月 31 日　フライジング～ミュンヘン空港

朝、ホテルで朝食をとっていると、スリランカの比丘が 3 人入ってきた。こんな所で南方仏教の比丘に出会うとは意外だったが、何でも瞑想の指導に来ているのだという。私もタイ仏教の僧として黄衣をまとったことがあると話をする。日本の僧侶だとはさすがに僧服を着ていないので彼らにはわからなかっただろう。

ミュンヘン空港まで 30 分ほどだというので、小高い丘の上にあるフライジング大聖堂に立ち寄ることにした。ケルン大聖堂などとは違い、質素な感じの外観だったが中に入って驚いた。正に重厚且つ絢爛豪華、煌びやかな装飾に溢れていた。聞くとミュンヘン以前のバイエルン地方の中心地がこのフライジングだったようで、教会はそのシンボル的存在だという。ローマ法王がこの教会から出たこともあるそうな。



フライジング（聖マリア・聖コルビニアン）大聖堂内部

信は荘厳からというが、洋の東西を問わず、宗教の如何にかかわらず、人々の信仰心が見事な荘厳を生み、素晴らしい荘厳が人々の信仰心を喚起し涵養する。言い得ぬ感動を得て教会を辞し空港に向かう。ルフトハンザ航空ミュンヘン発 12 時 40 分。マトイス夫妻の見送りを受け、家内共々感謝しきれない程のお世話になり、6 月 1 日の朝に関西空港に安着。9 泊 10 日のドイツの旅を終えたのである。　　終

河野　良文　奈良日独協会会長

女子高生が発見した新小惑星、「Daianji」と命名

岡山大安寺中等教育学校 5 年の藤井衣織さん（写真）が発見した小惑星が、本年 9 月、国際的に新しい惑星と認められました。藤井さんは、この小惑星を「Daianji」と命名しました。自らが通う学校の名前にちなんだ命名です。

藤井さんが通う学校は、かつて南都大安寺の寺領であった場所に 1963（昭和 38）年に創設された岡山大安寺高校を母体とし（筆者は同校の卒業生の一人です）、2010（平成 22）年に開校した中高一貫の公立学校です。

同校のホームページによれば、藤井さんは 3 年生の頃からパソコン上で天体を観測できるウェブサイト「COIAS」を用い小惑星を探しはじめたそうです。地球から 2 億 6000 万キロ離れ、火星と木星の間を公転する小惑星を発見し、その命名権を得て大好きな母校の名前から Daianji と命名したのです。「これを契機に多くの方々に宇宙を身近に感じてほしい」との思いも語られています。

藤井さんの快挙に心からの拍手を送ります。私たちも、大安寺の名を冠する小惑星に思いを馳せ、秋の夜空を見上げてみたいものです。

髙原弘海　会員





（ご本人および学校の承諾・許可を得て、岡山大安寺中等教育学校のホームページより転載）

● 行事報告（3） 第 33 回シュタムティッシュを開催しました

■ 開催日時：2026 年 9 月 26 日(土) 14:30～16:00
■ 会 場：大安寺催事棟
■ タイトル：「聖年のローマ」
■ 演 者：武舎 一夫さん（奈良日独協会理事）
■ 参加人数：19 名

夜風の心地よさが秋の気配を告げてくれた頃、第 33 回シュタムティッシュを開催しました。今回は理事の武舎一夫さんが昨年ローマを訪れた際、カトリック教会にとって節目となる「聖年」を迎えた様子についてお話しいただきました。



「聖年」は 1300 年に制定されて以降、周期を何度か変動させつつ、現在では原則 25 年毎に行われているそうです。春日大社の式年造替にも通ずるような印象を受けますが、ローマでは四大聖堂における「聖なる扉（Porta Santa）」の特別開放により免償を得られるとのこと。しかしこの免償は、本来ならば参拝弱者の救済策だったものの、次第に商業色を帯びてきたが故に批判の的となり、やがてルターによる宗教改革へと繋がっていった一方、その経済力があったからこそ、建築や美術といった文化的側面での隆盛をもたらしたという点に何とも皮肉なものを感じました。



そして実際に扉を通過する場面から、技巧の凝らされた聖堂内、華やかな装飾など、臨場感あるお写真を沢山ご披露いただきました。ドイツでは多くの聖堂でゴシックの尖塔が聳える鐘楼を目にしますが、ローマでの主流は古代建築の系譜を引く緩やかな形状の独立鐘楼であるという比較も興味深かったです。また、ミケランジェロ作のピエタ像や、文字の細部まで緻密に描かれたモザイク画も大変美しく見応えがあり、知的好奇心が存分に満たされるひとときとなりました。 米田真理子 理事

● 新入会員の紹介

蓮見岳人（はすみやまと）さん
阿部千春（あべちはる）さん（家族会員）

ドイツで音楽家として活動している二人です。蓮見は 1991 年、阿部は 92 年からドイツで音楽の教育を受け、そのまま音楽家として暮らしています。二人ともヨーロッパのバロックを中心とした古楽の演奏に携わっています。これは当時の音楽を、できる限り当時使われていたものと同じコンディションの楽器や発声法、また、文化や政治、芸術一般の背景を総合的にとらえて歴史的文脈をよりよく理解する試みでもあります。

蓮見はリュート、ヨーロッパの琵琶のようなものですが、あくまでもヨーロッパの音がします。薄く、軽く作ってあって澄んだ余韻のある響きのする楽器を演奏します。天理市出身で、京都では歴史を学んだのですが、音楽をケルンとフランクフルトの音大で学び直しました。

阿部は歴史的な様々なバイオリンを時代や地方によって違う設定で弾き分けます。他の様々な弦楽器も演奏しますが、最近は思うところがあって日本の伝統音楽を勉強するようになりました。小田原出身で、東京で音大を出たあと、シュトゥットガルト、バーゼル、ケルンで勉強して、20 年来ケルンで共に暮らしています。

河野会長が昨年ドイツに来られた折に、ケルン独日協会の皆様と共にお会いする機会がございました。それを機に、奈良とケルンの双方に入会届を送らせて頂きまして、両協会に微力ながらお役に立てたら、と存じます。 ケルンより 蓮見岳人



● 今後の行事

✧ 2026 年 11 月 3 日 大安寺国際縁日（共催） 料理・歌・踊り等プログラム満載の国際交流イベント
✧ 2026 年 12 月 5 日（土）17：30～20：00 クリスマス会 於：ダイニング菜宴（近鉄奈良駅）
会費：7000 円（学生 3000 円）。「じゃんけん大会」もあります。プレゼント持ち寄り大歓迎。
申込：隅田理事 su-mi-da.007@ktb.biglobe.ne.jp まで。（2026 年 11 月 20 日 申し込み締切）
✧ 2026 年 12 月 12 日（土）13：30～16：00（予定） ドイツ料理教室「伝統的なドイツのケーキ、クッキー」
講師：土井ギーゼラ先生・土井通靖先生 於：奈良市生涯学習センター3 階クッキングルーム
申込：松本俊郎理事 zyklus@m5.kcn.ne.jp まで。